

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きを短くまとめて紹介します



ロンドン事務所

海外 PR 用 Instagram アカウント「Local eyes Japan」をご活用ください！

クリアロンドン事務所の海外 PR 用 Instagram アカウント「Local eyes Japan (@localeyesjapan)」で、地元の魅力を発信しませんか？ (URL: <https://www.instagram.com/localeyesjapan/>)

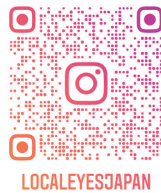
英国をはじめとする欧州では、日本食や日本ならではの美しい風景など、日本への関心がますます高まっており、現地の人々からは「まだあまり知られていない、ガイドブックにも掲載されていないような隠れた地域の魅力を発見したい!」という声が多く聞かれます。

「Local eyes Japan」では、自治体の皆様から募集した日本全国の名所や美しい景色、料理、文化など、その地域を熟知している自治体の皆様だからこそ知り得る、まさに日本の隠れた魅力に関する情報を発信しています。2021年の開設以来、PRに役立つツールとして多くの自治体の皆様にご利用いただいております。順調に投稿数、フォロワー数ともに伸ばしているところです。

ご応募に際しては、専用の投稿用様式をご用意しているほか、投稿文の英訳もお手伝いしております。

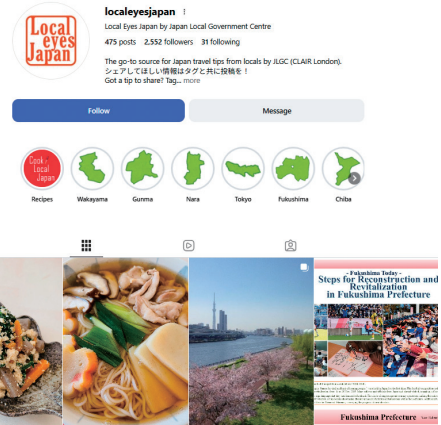
受け付けは通年行っておりますので、投稿をご希望の場合はクリアロンドン事務所までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】クリアロンドン事務所
Mail: apply@jlgc.org.uk



LOCALEYESJAPAN

Local eyes Japan @localeyesjapan
二次元コード



シドニー事務所

パース日本祭りに参加しました

2026年3月14日、西オーストラリア州（以下「WA州」）パースで日本祭りが開催されました。2013年に始まった本イベントは、日豪交流の重要な機会となっており、今回で12回目を迎え、主催者によると過去最高の約2万7000人が来場したとのことでした。

会場では、日本食の屋台や日本の商品の物販、茶道や生け花などの体験型展示、武道の実演のほか、スペシャルゲストとして「盛岡さんさ踊り」が披露されるなど、多彩なプログラムが多くの来場者を魅了していました。

シドニー事務所は、ブースを出展し、JETAA（元JET参加者の会）WA州支部のメンバーとともに、日本各地の魅力を紹介しました。来場者からは、桜の見ごろの時期や、サイクリングやマラソンなどのスポーツイベントに関する質問が寄せられました。JETAAのメンバーは、日本に居住経験のある外国人ならではの視点で日本の魅力をPRしていました。また、豪州からの訪日外客数は、昨年初めて、年間で累計100万人を突破しましたが、まだ日本を訪れたことがないと話す来場者も一定数おり、訪日外客数のさらなる増加の可能性を感じる機会ともなりました。

本イベントは、パースでの日本への関心の高まりに呼応し、年々来場者が増え、会場の規模も拡大しています。今回、日本からは長野県が初めてブースを出展していましたが、他の自治体におかれましても、今後の出展を検討してみてはいかがでしょうか。



クリアシドニー事務所のブースの様子



会場の様子



ニューヨーク事務所

ノーバイ市にて米国の地方自治体の現場を訪れました

2026年3月22日から26日にかけて、クレアニューヨーク事務所は、ミシガン州ノーバイ市で自治体訪問研修を実施しました。この研修は、自治体がどのように運営されているかを実地で体験することを目的として、当事務所への赴任1年目の職員を対象に例年行われているものです。今回の研修では、日本と同じように人員確保といった課題を抱えている部署があることや住民への施策説明に心を配っていることなどがわかりました。また、ノーバイ市に関わる人々が互いに顔見知りで、部署を超えた連携が図られている様子に大変感銘を受けました。

訪問とあわせて、同市のシティー・マネージャーであるヴィクター氏 (Mr. Victor Cardenas) に、アドバイザー認定証を授与しました。このアドバイザー認定は、日本と北米の自治体交流の促進に向け、これまで当事務所の活動にご協力いただいたことへの感謝と、今後の連携への期待をお伝えするものです。

本研修は、ヴィクター氏およびノーバイ市の議員・職員の皆様の多大なサポート・ホスピタリティーなしには成し得ませんでした。この場を借りてお礼を申し上げるとともに、今後も当事務所はこのような関係の拡大を目指して活動してまいります。



図書館で各種工作用のサービスが提供 アドバイザー認定証を授与されていた



パリ事務所

「スペインの地方自治」を約25年ぶりに改訂しました！

クレアパリでは、フランスを含めた各所管国に係る地方自治制度の解説書を発行しています。スペインの地方自治制度に関する包括的な解説書としては、平成14年(2002年)刊行の「スペインの地方自治」がその役割を長く担ってきました。

前回の発行から約25年が経過する中で、スペインの地方分権は劇的な深化を遂げました。特に、2008年の世界金融危機に端を発した経済不況は、それまで拡大の一途をたどってきた地方自治の財政運営に根本的な再考を迫るものになりました。

これによりスペインは、単に分権を「広げる」段階から、地域アイデンティティの尊重と国家の統合を両立させつつ、2011年に改正した憲法第135条に基づく厳格な財政規律の下で「いかに自律するか」という、成熟期特有の課題に直面しています。

今回の改訂では、スペインの国政の枠組みを概観した上で、自治州および地方団体(県・ムニシピオなど)の行財政制度や選挙制度、公務員制度について深掘りするほか、「自治州国家」とも称される特徴的な地方自治構造について、自治州の権限の強さに着目して解説しています。

併せて、近年のカタルーニャ危機などを通じて重要性が再認識されている憲法裁判所の紛争解決機能や、行政主体間の協調体制、さらにはEUの結束政策に基づく近年の財政的支援についても解説を試みています。

本改訂版が、スペインにおける地方自治の現況を伝える一助となり、日本の地方行政における新たな施策立案や制度研究の参考となれば幸いです。是非一度ご覧ください。



<https://clairparis.org/library/collectivites/>



シンガポール事務所

観光スポットや食の魅力、日本の春を世界に発信

シンガポールのガーデンズ・バイ・ザ・ベイで、今年で11回目を迎える「SAKURA2026」が開催されました。会場では30種類以上の桜・桃・梅が彩る華やかな空間の中、石川県の歴史地区をイメージした街並みや武家屋敷風の展示、伝統工芸の紹介などが行われ、日本文化の魅力が紹介されました。日本の春を体感できる展示として多くの来場者で賑わい、写真撮影や展示を楽しむ姿が見られるなど、会場は終始活気に包まれました。

また、3月14日および15日には、在シンガポール日本国大使館やクレアシンガポール事務所など関係機関の共催により「Touring Springtime Japan 2026」が開催されました。当事務所は全国の自治体の観光情報を発信するとともに、熊本県の植物由来のいくら、高知県のゆずジュース、長野県のアップルビネガーなどの試食を提供し、日本各地の食の魅力も紹介しました。来場者からは「試食品はシンガポールのどこで購入できるのか」「日本の桜を実際に見に行きたい」といった声が聞かれ、観光と物産を組み合わせた発信は多くの来場者の関心を集めました。こうした取り組みは、現地の人々の訪日意欲の向上や日本食への関心の高まりにつながるなど、効果的なプロモーションの機会となりました。クレア職員が紹介している様子



SAKURA2026 会場内の様子



ソウル事務所

2026年度新規韓国人 JET 参加者オリエンテーションが開催しました！

2026年3月21日、在韓日本大使館で、4月に日本の自治体に赴任する第34期となる10人の新規韓国人 JET 参加者を対象に、オリエンテーションおよび歓送会が開催しました。

オリエンテーションでは、渡航前の準備や JET 参加者としての業務、生活に関する実務的な内容についての説明が行われたほか、現在 JET として活動している現役参加者および元 JET 参加者によるアドバイスも行われ、先輩たちの生の声を聞くことができた大変有意義な機会となりました。

歓送会レセプションでは、在韓日本大使館、クレアソウル事務所および JETAA（元 JET 参加者の会）大韓民国支部より激励の言葉が贈られました。

新規参加者から今後の抱負や目標が日本語で述べられ、これからの日本の自治体での仕事や生活に対する大きな期待と少しの不安が垣間見えたのが印象的でした。

クレアソウル事務所では、今後の JET 参加者の一層の活躍を期待するとともに、JET プログラム（語学指導などを行う外国青年招致事業）のさらなる発展に努めてまいります。



オリエンテーションの様子



歓送会の様子



北京事務所

中国北京市で宮崎県を PR！（活動支援）

2月27日、在中国日本大使館で開催された天皇誕生日レセプションの、宮崎県が出展するブースで、当事務所職員が活動支援を行いました。

レセプションは、約900人の来場者があり、宮崎県ブースでは、県産の「日向夏リキュール」や、宮崎県の名物であるチキン南蛮を提供しました。「日向夏リキュール」には、多くの試飲者から「甘くておいしい」との声をいただき、購入用の二次元コードを通じ、その場で注文する人もいました。

このほか、宮崎県産のスイートピーの配布も行いました。花は J A 全農が上海へ輸出しているものを使用し、上海から本イベント用に北京へ空輸したもので、受け取った来場者からは「日本から持ってきたのですか」といった質問が多く寄せられるなど、好意的な反応を得ることができました。

今回、宮崎県ブースを訪れた人は「日本に行ったことがあり、次回は地方の観光地を訪問したい」という人も多く、宮崎県のパンフレットを配布し、多くの人に県の魅力を PR しました。



宮崎県ブースで案内を行うクレア職員



交流親善課

第9回日仏自治体交流会議をフランスのカヌ市で開催します！

日仏自治体交流会議は、日仏両国の自治体が一堂に会し、両国の自治体が抱える共通の行政課題や先進施策などについて発表・議論することで、両国の地方自治の発展に寄与することを目的に開催しています。

今回の会議は、2026年10月21日（水）から24日（土）にフランス・カヌ市で開催します。テーマは「未来の地域の魅力を築く：イノベーションから持続可能性へ」とし、経済、文化、ガバナンス、イノベーションの各側面から日仏の自治体が意見交換を行うことで、新しい持続可能な政策モデルの共創を目指します。

第9回会議は、フランスと姉妹都市交流などを行っている自治体だけでなく、フランスとの交流に関心のある全ての自治体にご参加いただけます。

現在、参加申し込みを受け付けていますので、参加を希望される場合は交流親善課までお問合せください。

詳しくは CLAIR のホームページへ！

<http://www.clair.or.jp/j/exchange/chiiki/nichi-futsu.html>

◆日 程 2026年10月21日（水）から24日（土）の4日間

◆開催地 カヌ市（パレ・デ・フェスティバル・エ・デ・コンブレ）

【お問い合わせ】交流親善課 TEL:03-5213-1723 Mail: shimai@clair.or.jp



第8回静岡市会議の集合写真

経済交流課

プロモーションアドバイザー事業について

クリアでは、自治体の海外プロモーション（地域産品の海外販路開拓・インバウンド誘致促進など）を支援するため、専門的知見、ノウハウ、経験をもつ専門家・プロモーションアドバイザー（PA）の派遣を行っています。今回は、2025年度の派遣実績の一部をご紹介します。

- ① 長野県（派遣 PA：（一社）ハラル・ジャパン協会 代表理事 佐久間 朋宏 氏）
ムスリム旅行者が増える中、ムスリム市場の概況の説明や受入側自治体として求められる環境整備などについて、セミナーを開催しご助言をいただきました。
- ② 福井県越前市（派遣 PA：株式会社ゼロファーストデザイン 代表取締役 佐戸川 清 氏）
越前和紙の海外販路開拓について、価格ではなく価値で勝負するブランディング（品質、歴史、エシカル消費など）への転換を提言し、市・事業者・行政が連携して販路拡大を進める重要性を示していただきました。
- ③ 兵庫県朝来市（派遣 PA：株式会社インバウンドにつぼん 小野 秀一郎 氏）
外国人旅行者の訪問数が増え悩んでいる課題に対し、市内視察を経たうえで、情報発信の重要性やまず行うべき受入対策についてご助言をいただきました。
派遣先団体からは、派遣結果を今後の事業展開に生かしていきたいとお声をいただきました。海外プロモーションにご関心のある自治体におかれましては、ぜひ積極的にご活用ください。



PAによる現地視察の様子（朝来市）

【お問い合わせ】 経済交流課 Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp

多文化共生課

2026年度「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修事業」のご案内

近年、大規模な自然災害が相次いでおり、災害時には他機関との連携や広域支援が必要となる場合が多く、平時から関係者同士が顔の見える関係を構築しておくことが重要となっています。こうした状況を踏まえ、自治体国際化協会では、地域国際化協会などにおける災害時外国人支援の取り組みを促進すべく、「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修事業」を実施しています。2026年度の研修は、5月以降に開催日時などを連絡する予定ですので、各団体におかれては、ぜひご参加ください。

<対象者>

都道府県職員、政令指定都市職員、地域国際化協会職員、「災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修」受講者 など

<研修日程>

オンライン研修：2026年6月から8月に3回

現地研修：2026年8月から9月頃に1回

※詳細は別途ご連絡いたします。

■お問い合わせ 多文化共生課

Tel: 03-5213-1725 Mail: tabunka@clair.or.jp



令和7年度の研修の様子

JET プログラム事業部

ALT 指導力等向上研修にてクリア職員派遣事業を実施します！

JETプログラム参加者の外国語指導助手（ALT）を対象とした「外国語指導助手指導力等向上研修」は、ALTの指導力向上と外国語教育の充実を目的として、毎年度8月から2月頃に実施しています。本事業は、各取りまとめ団体（都道府県・政令指定都市）が当協会の協力のもと、ALTおよび日本人外国語指導員（JTL）向けの研修を企画・運営し、実践に即した外国語教育に関する講義やワークショップを提供するものです。

2025年度は、取りまとめ団体が全体の企画を担当する一方で、当協会は2種類の講義を提供しました。一つ目は委託業者による専門的な講義、二つ目はALT経験を有するクリアPC（プログラム・コーディネーター）による講義です。提供したPC派遣講義は「チームティーチングによる実践的な問題解決」と「チームティーチングの期待」をテーマに、参加者同士の活発な意見交換や具体的な事例に基づく課題解決を目標に掲げ実施しました。

PC派遣講義は全国12の都道府県にて15回講義を行い、ALT 771人、小学校・中学校・高校の日本人教員 333人が参加しました。資料は英語・日本語の両言語で提供され、主に英語で活発な意見交換が行われました。当協会では2年ごとに講義内容を見直しており、2026年度は新たなテーマの研修を提供する予定です。



ALT 指導力等向上研修の様子